



進んで学び、互いが育つかわりのできる 南郷っ子の育成

南郷の風

南会津町立南郷小学校だより

令和7年5月28日発行

令和7年度 第5号

発行者：校長 橋内 伸行

保護者面談週間 ～ご参加ありがとうございます～

先週23日(金)から明日29日(木)の5日間、希望する保護者の皆様を対象とした保護者面談期間を実施しております。

保護者の皆様におかれましては、日頃のお仕事や家事等で御多用の中にもかわらず参加いただきありがとうございます。

面談では、短い時間ではありますが、お子さんのご家庭や学校でのようす、現在、夢中になっていることや成長ぶり、保護者の皆様の思いや願い等の相互理解を図るとともに、お子さんのよりよい成長を支援していくたに役立てていきたいと考えております。



子どもの心(内面)に寄り添える大人でありたい



私たちは誰しも、一人一人、さまざまな想いや願いをもって生活しており、時には悩みやストレスといった形となることがあります。それは、子どもたちも同じです。親として、または人生の先輩として、その悩みや想いを汲み取って助言や支援をしていきたいものです。

私自身、これまでの教職人生、または親として自分自身を振り返ったとき、「あのときの振る舞いは正しかったのか?」と考えてしまうことがたくさんあります。それは、「子どもの心(内面)」に寄り添えていたか」ということです。

目で見えることや耳で聞こえることは、「行動」や「表情」、「言葉」など、『限られたもの』でしかありません。でも、実際には、その下に、目で見たり、耳で聞いたりすることのできない「悩み」や「苦しさ」、「ストレス」といった『心』の部分が動いています。「心(内面)」の部分が大きな要因となって、行動や言葉などに表れていることが多くあります。

私たちは、この、子どもたちの「心」の些細な変化を感じ取ることでできる大人でありたいものです。そのためには、子どもたちの「心」を「見ようとする」「聞こうとする」努力が必要です。本校では、子どもたち一人一人の、心の小さな SOS を見逃さず「チーム南郷」で支援することを目指し、定期的なアンケート調査だけに頼ることなく、日頃から子どもたちとのコミュニケーションを大切にし、積極的なかわりをとおして気づいたことを全職員で共有するとともに、教職員それぞれの視点での児童理解に努めています。

今後も引き続き、保護者の皆様との連携を「密」にしながら、子どもたちの「心」に寄り添った支援の充実を図って参りますので、何かありましたら、遠慮なく学校までご相談いただきますようお願いいたします。

